

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	ENGLISH NOW English Communication Ⅱ	コⅡ304

1 内容

① 題材内容

- ◎ 題材は「高校生目線の話題」という視点で精選されている。特に「話す相手との距離の取り方の心理」(5 課)、「身近な存在になりつつあるロボット」(7 課)、「高校生が作った究極のエコカー」(9 課)など、学習者に身近で興味深い題材を配置し、学習意欲を喚起する題材が取り上げられている。また、これらの題材を通して、教科横断的な学習ができるようにも配慮されている。
- ◎ 本文ページ下の質問項目 (Yes/No Question) で英語を使って内容理解を確認するとともに、巻末に設けた日本語による背景資料 (「題材理解のために」) で、さらに理解を深める工夫がされている。

② 言語材料

ア 語彙の選択と配列

- ◎ 語彙は平易で活用度の高い基本的なものをくり返し学べるように、よく精選されている。

イ 文・文型・文法事項の選択と配列

- ◎ 学習指導要領に基づいて、易から難へと配列するように、十分に工夫されている。
- ◎ 学習事項の定着を図るため、反復練習ができるように工夫されている。
- ◎ 各課の重要文法事項は課末の“KEY POINT”でまとめられている。さらに4箇所につけられた「英語のしくみ」では、長い文に焦点をあて、その構造に注意しながら理解できる力をつけられるよう、段階的に扱っている。

ウ 文の長さとその難易による配列

- ◎ 短い文から次第に長い文へと、学習者に負担にならないように段階的に学習できるように、よく配慮されている。

エ 音声

- ◎ 2箇所につけられた「つづり字と発音」でフォニックスの特徴的なルールをわかりやすくまとめて扱っている。
- ◎ 傍注の新出語には「発音記号」が示されている。I巻で併記されていた「カナ表記」は巻末に移されており、学習段階に応じた音声指導ができるよう配慮されている。

オ 言語の使用場面と働き

- ◎ 課末に置かれた DRILL, ACTIVITY や3箇所につけられた Let's Communicate (言語の使用場面) により、4技能の総合的な指導を通して、各技能を統合的に活用したコミュニケーション能力を育成できるように工夫されている。

2 分量・構成

- ◎ 本課(L)9, 読み物教材(R)2 (1学期 4L+1R, 2学期 4L, 3学期 1L+1R) が用意されており、4単位で余裕をもって消化できるよう適切な分量になっている。さらに Further Reading が設けられ、時間数に余裕のある場合の配慮もされている。
- ◎ 中学校における英語学習の基礎の上に高校での学習事項が無理なく配列されている。例えば本書冒頭における「友だちにインタビューしてみよう」など、中学校での学習事項を繰り返して学習し、定着を図れるように工夫されている。
- ◎ 各課の冒頭に「この課の目標」としてその課で「できるようになること」を明確に示し、生徒が目標をもって学習に取り組めるように工夫されている。
- ◎ 各課の導入においては、内容スキーマを活性化させるための音声による Warm-Up Listening 活動を配置し、題材への興味付け、動機付けが図られている。
- ◎ 本文・練習問題は易から難へ配列がなされており、分量・難易度ともに適切である。

3 表現・表記・使用上の利点

- ◎ 大判 (B5 判) の利点を活かし、ゆとりのある紙面構成となっている。
- ◎ 写真やイラストを含め、すべてカラーでありながらも、落ち着いた美しい色使いとなるよう配慮されており、学習者が意欲をもって学習に取り組めるように工夫されている。
- ◎ 印刷は鮮明で表紙や口絵も美しく、内容的にも英語学習の環境作りとしての役割を十分に果たしている。
- ◎ 活字は太めで適度に大きく、字間、行間も適切で読みやすさに配慮されている。
- ◎ 巻末の「題材理解のために」には日本語による各課の背景資料を掲載しており、学習者が題材内容に関心を深められる工夫がなされている。